

2021年度 成果

今年度から初めて実施し、様々な企業・団体と連携して県内各地で清掃活動を行った結果、清掃参加者は目標人数に届くところまで来ている。モデル事業としては、J3リーグのガイナーレ鳥取とコラボしたCFBスペシャルマッチを開催。オリジナル映像を制作し来場者へ訴求を図ったり、来場者・ボランティアスタッフと一緒にスタジアム周辺の清掃活動を行った。また、環境問題を学ぶ鳥取環境大学生と一緒に、川から海に流れ出る海洋ごみの滞留メカニズムを調査。その結果を今年度中に発表し、今後の方向性を示す予定。さらに、地元の温泉街「皆生温泉」と連携した拾い箱モデルを11月に設置、eスポーツと海ごみ拾いを掛け合わせた「海とeスポーツ」を22年7月に開催し、多方面から海ごみゼロにつながるモデル事業を展開した。



スポーツ連携モデル

J3リーグのガイナーレ鳥取とCFBスペシャルマッチを開催。特別映像での訴求や清掃活動を実施



鳥取環境大学連携①

川から海に流れ出る海洋ごみの滞留メカニズムをGPSを使って調査。結果は集約して発表予定



鳥取環境大学連携②

環境大生が小学校に出向き、海洋ごみの出前授業を実施。海ごみゼロへの訴求を図った



清掃活動

様々な自治体・企業・団体等と連携し、海ごみゼロウィークを中心に清掃活動を実施

その他：拾い箱モデル、eスポーツモデル、商品開発等を実施

メディア露出



6/5 「SEA TOTTORI2021」



9/3 「SEA TOTTORI2021」



10/23 「SEA TOTTORI2021」



10/30 「SEA TOTTORI2021」

その他：TVCM100本以上・TV番組年間10本以上、WEB35本 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

1年間事業を推進してきて、海洋ごみ問題に関心がある人は多いことが分かった。そういう人たちは普段から気を付けていて、清掃活動に何度も参加する等積極的に活動している。今後は、関心が薄い人たちにどうやって訴求して、自分ごと化し、行動を変えてもらえるかが重要だと感じる。そのため次年度は、無関心層に向けてSNSを使った清掃活動フォトコンテストの実施や観光地と連携して、観光客向けの海洋ごみ問題訴求プログラムの制作、自治体と連携した護海袋モデル等を行って、行動変容のキッカケ作りとなる事業を展開していく。